林 野 庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター 平成22年度 年 平成23年3月31日発行









この1年を振り返って

(所長 宮本 元宗)

今年度は「森林」がキーワードになった年だったと思います。10月に生物多様性条約 締約国会議 COP10 が開催され、発展途上国の森林由来による遺伝資源などの取扱につい て多くの議論がなされました。また 2011 年は国連が定めた国際森林年です。今後、森林 ・林業が更に注目されることが予想されます。

このような中、森林環境保全ふれあいセンターでは、今年度から森 林ボランティア養成講座を開催しました。この講座は、パイロットフ オレストや釧路湿原の源流の一つである雷別の国有林を活用し、これ からボランティアを初めてみたいという方などを対象として、植樹活 動や野生動植物の観察会などの森林活動を体験していただき、森林を より深く理解し、より身近に感じていただくために始めたところです。



その他にも教育機関や地域と連携した取組を数多く実施しておりま すので、この年報をご一読いただき、皆様からのご意見等をいただけ **2011・国際森林年** れば幸いです。

[平成22年度 北の国・森林づくり技術交流発表会 発表要旨]

パイロットフォレストを活用した

森林・林業の普及・啓発への取組

1. はじめに

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターの活動区域 内には、先人たちが多くの困難を克服し、1万ヘクタ ールもの原野を一大造林地に作り上げた「パイロット フォレスト」と呼ばれる森林があります。

当時(写真1:昭和29年撮影)は山火事跡の所々に焼け残った木がポツポツと立っている荒廃した原野でした。昭和32年から本格的な造成が開始され、現在(写真2)では緑豊かな森林に覆われています。

パイロットフォレストは森林環境教育のフィールドとしても良好な環境を保持しています。しかし、パイロットフォレストが所在する釧路管内でもその知名度が低いことから、多くの人々にパイロットフォレストのすばらしさを知っていただくために様々な取組を通してパイロットフォレストの情報発信に努めています。



パイロットフォレストの認知度を高めるため、以下 の取組を通して情報発信に努めてきました。

① 木道・遊歩道の整備

パイロットフォレスト造成 50 周年記念時(平成 18 年)に木道を設置(写真 3)。その後研修棟から別寒辺牛湿原を経由して望楼までの約 2 km の遊歩道にチップを敷設(写真 4)。



根釧西部森林管理署と連携し、厚岸少年自然の家、釧路市こども遊学館等との共催による親子や小学生を対象とした森林・林業体験活動(写真5)の支援及び近隣小中学校の森林環境教育(写真6・7)のフィールドとして活用。

③ 森林利用サポート事業の実施

森林環境教育の対象は、子供達ばかりではなく普段森林に入る機会の少ないお年寄りを 対象に平成 21 年度から行い、パイロットフォレストの魅力を PR しています。(写真8)

④ 教職員を対象とした森林ふれあい講座と教員初任者研修の支援

平成 17 年度から教職員を対象とした森林・林業の体験講座(写真 9) を、また平成 22 年度は釧路教育局教員初任者研修の一環として森林・林業の体験講座(写真 10) を実施。



(写真3)



(写真2)



(写真4)





(写真7)



(写真9)



(写真6)



(写真8)



(写真 10)

3. 取組を実施して

①の取組では

木道・遊歩道が整備されたことにより、パイロットフォレストを訪れた人々に対し、「木道を歩きたい・森林内を見てみたい」等の好奇心を高めることができました。また、この木道・遊歩道沿いに樹名板・解説板を設置することにより森林環境教育等のフィールドとして活用する機会が多くなりました。

②の取組では

他の団体と連携することで、幅広い地域の人たちにパイロットフォレストを紹介することが出来、有効な PR 手段と考えます。また、近隣の小中学校の森林環境教育に於いて、子供たちに地域の自然や人と自然の関係について考える良いきっかけとなりました。

③の取組では

足が不自由なお年寄り、普段森林に入る機会の少ないお年寄りを対象に森林浴を主体とした森林環境教育を実施してパイロットフォレストの魅力を PR すると同時に森林を身近な物と感じていただくことが出来ました。

④の取組では

今年度実施した教育局教員初任者研修において、研修生76名を一日で受け入れ実施 出来たことは、今後継続して実施する励みになりました。また、研修参加者に対するア ンケート調査も実施することができ、森林環境教育への一定の思考を得ることが出来ま した。

《参考:アンケート調査結果から》

- O① 勤務する学校について教えて下さい
 - A · 小学校 35%
- ・中学校 34%
- · 高等学校 28% · 特別支援学校 3%
- O② 児童・生徒に「森林の様々な働きや仕組み・森林と人間の関わり合いの学習」や森 づくりのための森林・林業体験活動を取り組ませたいと思いますか」
 - A ・総合的な学習の時間で取り組ませたい 46%
 - ・総合的な学習の時間以外

(見学旅行など) で取り組みたい

2 7 %

・国や道などの行政機関が協力してく れるのであれば取り組みたい

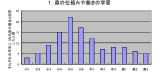
1 5 %

- O ③ あなたの学校で、森林環境教育に関する学習や体験を行うとしたら、どのようなこ とをさせたいと考えていますか。また、その内容に適当と思われる対象学年を教えて 下さい。
 - A 1. 森や仕組みや働きの学習 2. 森林と人間の関わり合いの学習
 - 3. 森林内の動物や植物などの自然観察 4. 木やつるなどを利用した

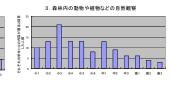
木工クラフト

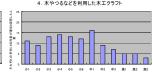
特別支援学校

小学校 35%



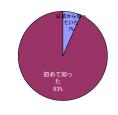






- Q 4 「パイロットフォレスト」についてご存じでしたか。
 - 「以前から知っていた」 7 % 「初めて知った」 93%

※ 釧路管内の先生方の間でも、パイロットフォレスト の知名度が低い結果となりました。



注:アンケート結果の一部を掲載しました。

4. まとめ

パイロットフォレストを知ってもらうことは以下の①~③に通じると考えています。

- ① 荒れ果てた原野から自然豊かな森林に再生したパイロットフォレストで行う自然観察 や森林教室を通して、森林への興味を醸成し、森林の仕組み・働きについて考えるきっ かけになります。
- ② 森林の造成が地域の農業や漁業の振興に大きく貢献していることを理解し、森林と川 と海と人間との関係について考えるきっかけになります。
- ③ 広大な原野に短期間のうちに森林を造成した技術や地域の人々の協力について理解 し、人間と自然の関係や、環境について考えるきっかけになる。

今後も様々な取組を通してパイロットフォレストの情報発信に努めていきたいと考えて います。

(自然再生・生物多様性保全)

4月15日~27日 土壤凍結深度実態調査 (前年度からの継続) を実施

4月20日 再生普及行動計画ワーキング グループ出席(協議会:再生普及小委員会)

5月26日 雷別ドングリ倶楽部活動(第1 回:広葉樹タネの播種作業)を実施



(播種床にタネを蒔く会員たち)

雷別ドングリ倶楽部の今年度最初の活動 をパイロットフォレストで行いました。

昨年標茶町内で採取したヤチダモ、シラ カンバのタネを、発泡スチロールを利用し た播種床に播き付しました。

5月28日 協議会第15回再生普及小委員 会出席

6月8日・12日 ボランティアグループ による植樹活動(団体申込)の実施



(新宗連釧路地区協 議会メンバー)

(一般公募による 参加者)



6月21日~7月16日 雷別自然再生事業 地の試行実験区調査を実施

6月27日 第1回森林ボランティア養成 講座を実施(全3回実施)

本講座は年3回予定していて、最初の講 座です。初回は雷別国有林で、①植樹体験 と遊歩道の看板設置、②講師に釧路やちの 会事務局長の岩間氏を招いて「野草の観察 会」を行いました。



(野草の解説を行う岩間氏)

7月6日~27日 野生動物生息調査(予 備調査)をパイロットフォレストで実施

雷別ドングリ倶楽部活動(第 7月14日 2回:遊歩道整備、ヘキサチューブ撤去作 業)を実施

9月5日 第2回森林ボランティア養成講 座を実施

今回の内容は、①雷別自然再生事業地で は事業地周辺から採取したタネから苗木を 育て、植栽し、元の森林に戻す事業を実施 していることから、タネを採取するため「シ ードトラップ設置」、②講師に森林プロデ ューサーの山中氏を招き「森林セラピーの 歩き方」と題して森林セラピーを体感しま した。





(シードトッラプを設置する参加者)

9月7日~28日 野生動物生息調査(本 10月28日 協議会第10回森林再生小委員 調査)をパイロットフォレストで実施



(自動撮影カメラに写されたコウモリ)

9月8日 雷別ドングリ倶楽部活動(第3 回:カラマツ間伐材の伐採・搬出・集材現 場の見学、遊歩道の散策)を実施

9月10日 協議会運営事務局会議出席

10月7日 広葉樹種子採取

10月16日・21日 ボランティアによる植 樹活動の実施





(おはこ会会員による植樹)

会出席 (意見交換を行う委員)



森林再生小委員会は協議会の下に設置さ れた小委員会の一つで、森林の再生に関す る実施計画と実施状況、モニタリング調査 結果を検討します。

当日は個人員7名、団体委員 11 機関及 び関係行政機関が出席して活発な意見交換 が行われました。

10月31日 第3回森林ボランティア養成 講座を実施

今回の内容は、①前回設置したシードト ッラプから「ミズナラのタネ (ドングリ) の採取」、②講師に北海道キノコの会会員 の奈良氏を招き「キノコと森」と題してキ ノコの観察会を行いました。



(キノコを観察する参加者)

11月15日~17日 雷別自然再生事業地の 試行実験区調査を実施

11 月 19 日 再生普及行動計画ワーキング グループ出席(協議会:再生普及小委員会)

11月24日 雷別ドングリ倶楽部活動(第 4回:炭焼・飾り炭作り、枝打ち・保育間 伐作業) を実施

11月30日 協議会第16回再生普及小委員会出席

再生普及小委員会は協議会の下に設置された小委員会の一つで、他の小委員会の活動情報の発信、湿原を用いた環境教育の検討と実践を行っています。

当日は個人委員 13 名、団体委員 14 機関 と関係行政機関が出席して活発な意見交換 を行いました。 (意見交換を行う委員)



12月2日 協議会運営事務局会議出席

12 月8日~ 22 日 野生動物生息調査 (予 備調査) を雷別自然再生事業地で実施

12 月 14 日 釧路湿原自然再生協議会出席 釧路市にある「湿原の風アリーナ釧路」 で、個人委員 13 名、団体委員 20 機関及び 関係行政機関などが出席して協議会が開催 されました。

各小委員会の活動状況報告、施策の点検 と協議会の今後の運営についての課題と対 応についての提案があり、活発な意見交換 が行われました。

(意見交換を行う出席者)



(森林再生小委員会 (雷別地区) 説明)



中村森林再生小委員会委員長)

12月19日 釧路湿原ラムサール登録30周 年記念事業でパネル展を実施



(当センターのパネル展示)

1月 25 日 環境教育ワーキンググループ 出席(協議会:再生普及小委員会)

2月3日~24日 野生動物生息調査(本調査)を雷別地区で実施

2月23日 雷別ドングリ倶楽部(第5回活動:冬芽の観察、来年度活動予定打合せ)



〈森林環境教育〉

4月 29 日~5月5日 釧路市こども遊学 館イベント参加

釧路市こども遊学館でゴールデンウィークイベント 2010「木のおもちゃであそぼう!」が行われました。会場には大・小の動くおもちゃ、木の玉がころがる巨大ゲーム機など木の遊具がたくさん用意され、木にふれあう様々な工作教室が開かれました

当センターでは、「ア イスの棒 de クラフト」、 「つみっきー(つみきあ そび)」に参加しました。

また、期間中は、木の標本を展示しました。

(自分の背より高く積み上げ ましたよ)

5月 15日 「ネイパルクラブ 2010」支援 道立厚岸少年の家が主催するネイパルク ラブ 2010 の支援を行いました。

今回は、「森林への興味を育てる、森林 を育てる仕組み、働きについて考える」な どを目的に行われました。



(森の動物の説明↑)

当センターでは、根釧西部森林管理署と 共同で、少しでも森林に興味を持ってもら うため、パイロットフォレストの歴史のビ デオ鑑賞、ジェットシューターによる消火 体験、森に住む動物の説明、飾り炭(お土 産用)作りなどを行いました。 6月22日 森林教室の実施(白糠町立茶路小中学校)

7月 18日 釧路市こども遊学館「木工教室」

8月 29 日 釧路市こども遊学館「森林と ふれる体験」

釧路市こども遊学館と連携し、パイロットフォレストにおいて、自然観察会「フォレストスクール~自然の中で遊ぼう!学ぼう!」を実施しました。

今回は、小学生の親子など 16 組が参加 して、「飾り炭作り」、「火起こし体験」、「森 の宝さがし」などを行いました。



(↑火起こし体験と森の宝さがし↑)

9月2日 学校林活動支援(標茶町立中茶 安別小中学校)

9月7日 森林教室の実施(白糠町立茶路 小中学校)

9月11日 森林教室の実施(ことばの教 室)

釧路市内の「ことばの教室」の子どもたちとその保護者 20 名を対象に、「飾り炭作り」、「竹とんぼ作り」などを行いました。



(出来上がった竹とんぼで遊ぶ子どもたち)

9月14日・10月6日 森林教室の実施(厚 岸町立高知小学校)

3年生~6年生4名を対象に、9月14

日に、学校の教室で「森の働き」、学校林 で「樹木観察」を行いました。

10月6日は、パイロットフォレストで、 「間伐の体験」、「カミネッコンを利用し た植樹体験」、「森の動物たち」などの体 験学習を行いました。



(間伐の体験)

10月22日 森林教室の実施(釧路町立昆 布森小学校)

1年生・2年生の児童 10名を対象に、 森林から集めてきた、木の小枝や木の実(ド ングリ・松ぼっくりなど)を使い、昆虫や リースなど思い思いの作品づくりを行いま した。



(仲良くリースづくり)

10月24日 釧路市こども遊学館「木工教 室:木とんぼづくり」



(木とんぼづくりの参加者)

10月26日 学校林活動支援(標茶町立中 茶安別小中学校)

学校林「るんるんフォレスト」で今年最 後の活動が行われました。小学生・中学生 30 名が2班に分かれ、学校林活動でお世 話になったリンゴ、ナツグミなどの実のな る木に、ペットボトルで作ったネズミの食 害防止ガードを巻き付けたり、雪の重みで 木が折れないよう支柱立てを行いました。



(ネズミの食害防止ガード・支柱立て)

また、今年新たに作設した遊歩道沿いに、 巣箱の設置、樹名板の取付も行いました。





(巣箱の設置↓)



11 月 9 日 白糠町立茶路小学校学校林活 動発表会

11 月 13 日・12 月 18 日 釧路総合振興局 イベント支援「木工教室:マイ箸づくり」

釧路総合振興局が行う「森林と木とのふれあい体験」で11月13日(白糠町西庶路ふれあい児童館)12月18日(釧路町別保公園ツリーハウス館)でそれぞれ「マイ箸づくり」を行いました。

↓ (白糠町西庶路ふれあい児童館)





(釧路町別保公園ツリーハウス館)↑

2月15·18·24·28日 白糠町立 茶路小学校卒業記念木工品制作支援





卒業記念竹馬と新 1 年生への贈り物のカレンダー

2月25日・3月3日 緑の少年団退団記 念木工品制作支援

2月25日は、弟子屈町立和琴小学校および川湯小学校、3月3日は、釧路市立阿 寒湖畔小学校でそれぞれ退団式を行い、退 団記念に「マイ箸」を作りました。

〈NPO 等・その他の取組〉

5月12日・9月17日 JICA (国際協力機構) 受託研修受入

森林経営コース (5月12日)、森林保全コース (9月17日)の JICA 受託研修をパイロットフォレストに設置してある、ドラム缶型簡易炭焼窯を使用して、「窯の構造」、「炭焼きの手順」などを実際に炭焼を行って体験研修を行いました。



(炭焼の手順について説明)

6月5・6日 くしろエコ・フェア 2010

6月17日・7月22日 森林利用サポート 事業

桜ヶ丘ひぶなクラブ (6月 17日)・おはこ会 (7月 22日) のボランティアサークルがパイロットフォレストにおいて、ユニバーサルデザイン木道を利用した森林浴や、飾り炭作りを体験しました。



(写真上:ひぶなクラブ、下:おはこ会)



8月3日 釧路教育局新任者研修支援

北海道教育庁釧路教育局が実施する初任 者研修をパイロットフォレストで行いまし しろエコ・フェア 2010 た。

今年度釧路管内で新しく教員(小・中・ 高校、特別支援学校)に採用された 76 名 が参加しました。参加者数が多いことから、 当センターと根釧西部森林管理署が共同 で、「間伐体験」「枝打ち体験」「カミネッ コンによる苗木作り」などの体験プログラ ムを準備して実行しました。



(間伐体験)



(枝打ち体験)



(カミネッコンによる苗木作り)

8月31日 京都大学パイロットフォレス 卜見学案内

9月2・3日 道東地域林政連絡調整会議

9月12日 白糠町カミングパラダイス

9月23日 環がまちくしろフェスタ&く

10月2日 北海道育樹祭視察

10月11日 エゾシカシンポジュウム

10月23日 道民森づくりネットワークの 集い

11月3日 科学の祭典釧路大会「サイエ ンス屋台村」

釧路市こども遊学館を会場に、子供たち に科学のおもしろさを知ってもらうため、 サイエンス屋台村 (青少年のための科学の 祭典釧路大会実行委員会主催)が行われま した。

当センターでは、木の摩擦熱を利用して 火種を作る道具を使用して「火起こし体験」 ブースを出展しました。



(火起こしチャレンジ中)

11 月 4 日 森林・林業再生プラン事業説 明会出席

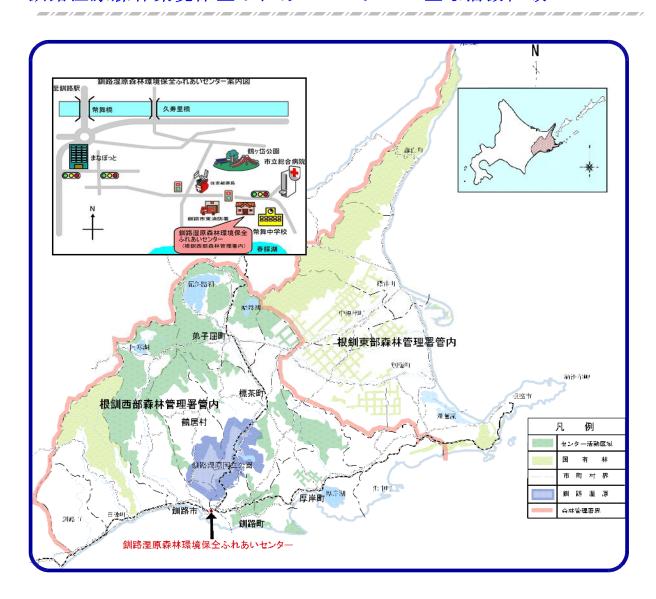
1月27日・28日 北の国・森林づくり技 術交流発表会

当センターでは、国民の森林部門で「パ イロットフォレストを活用した森林・林業 の普及・啓発の取組」の 1 課題を発表しま した。(概要は本年報2ページから4ペー ジに記載)

4月~3月 センター広報紙「飛鶴の森林 から」発行

第 38 号から「飛鶴の森林から」に名称 を変更しました。(第38号から第49号ま で毎月発行)

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンターの主な活動区域





林 野 庁

北海道森林管理局

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

連絡先:〒085-0825

北海道釧路市千歳町 6-11

TEL: 050-3160-5787, 0154-44-0533

FAX: 0154-41-7305

e-mail: h kushiro f@rinya.maff.go.jp

HP (ホームページ): http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro fc/index.html